

GeneSpring インストールガイド

デモライセンス編

2004年12月6日更新

この度は GeneSpring の 15 日間デモをお試しいただき、誠にありがとうございます。以下をご参考の上、GeneSpring を正しくインストールしてください。もし、インストールや GeneSpring の使用法で分からないことがありましたら、下記までご連絡ください。

GeneSpring の Help メニューから、" Technical Support " を選択

または

メールにて jsupport@silicongenetics.com 宛てまで

- 目次 -

- | | |
|-------------------|--------|
| 1. インストールするマシンを選ぶ | — 2ページ |
| 2. インストーラを手に入れる | — 4ページ |
| 3. インストーラを実行する | — 5ページ |
| 4. デモライセンスキーを取得する | — 6ページ |
| 5. プリファレンスを設定する | — 8ページ |
| 6. トラブルシューティング | — 9ページ |

このガイドは、GeneSpring のデモ版をお試しいただく方を対象としています。GeneSpring を既にお持ちの方は、ライセンサー向けのインストールガイドをご覧ください。

1. インストールするマシンを選ぶ

GeneSpring は Java アプリケーションで、Java 仮想マシン (JVM) 上で動作します。JVM はハードウェアや OS に依存します。各社より提供されている多種多様な JVM は、それぞれスペックに多少の差があります。言い換えると、GeneSpring の性能は、マシンだけでなく、OS と JVM の組み合わせにも依存しています。

Silicon Genetics では、下記の組み合わせにおいて動作確認いたしております。

The GeneSpring PC Version requires:	The GeneSpring Mac Version requires:	The GeneSpring Unix Version requires:
<ul style="list-style-type: none">• Windows NT/2000/XP• Pentium III or later• 512 MB RAM†• 1024 x 768 display• 250 MB of free disk space†	<ul style="list-style-type: none">• Mac OS X v10.2.1 or later• 512 MB RAM †• 1024 x 768 display• Java 1.3.1• 250 MB of free disk space†	<ul style="list-style-type: none">• Linux or Solaris• A JVM installed that supports J2SE 1.4 or later• 512 MB RAM†• 1024 x 768 display• 250 MB of free disk space†

OS の選定について

GeneSpring は、現在 Windows 環境で最も素早く、安定して動作します。しかし、最も効率的な環境が何かと問われると、ユーザが慣れ親しんだ環境でお使いいただく方がよい場合もあります。

Windows、Linux、Solaris を選択された場合は、GeneSpring のインストーラに付属する JVM をお使いください。JVM 付きのインストーラを実行すると、自動的にこれを使用するように設定されます。

Mac OS 用の JVM は、アップル社のサイトからダウンロードしてください。1.4 以降のバージョンでは正常に動作しない場合があります。

マシンの選定について

マイクロアレイのデータは巨大ですから、解析には多くのメモリーを消費します。必要なメモリーの目安に下表をご覧ください。多くのメモリーを積んでいるほど動作は軽快になり、システムは安定しますので、できるかぎり余裕をもって、メモリーをご用意ください。

<i>Chip</i>	10,000 genes	20,000 genes	40,000 genes
20 Samples			
Recommended RAM	768MB	768MB	1GB
50 Samples			
Recommended RAM	1GB	1GB	2GB
100 Samples			
Recommended RAM	2GB	2GB	2GB
200 Samples			
Recommended RAM	2GB	2GB	2GB

2. インストーラを手に入れる

下記よりインストーラをダウンロードしてください。

<http://www.silicongenetics.com/cgi/SiG.cgi/Products/GeneSpring/download.smf>

ネットワーク上の制限でインストーラをダウンロードすることができない場合は、テクニカルサポートにお問い合わせください。

3. インストーラを実行する

GeneSpring はシングルユーザー向けにデザインされています。GeneSpring をインストールしたコンピュータを複数の方で共用される場合でも、必ず同一ユーザ ID でログインして、インストール・ご使用ください。また、ユーザ ID は日本語を含まないようにつけてください。

インストーラは次の手順で進みます。

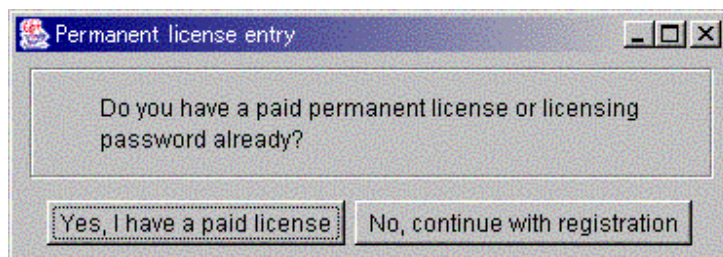
1. ライセンスへ同意
2. インストール先の指定
3. インストール実行
4. GeneSpring の起動 (ライセンスキー取得へ)

ステップ 3 (インストール先の指定) では、特別な場合を除いて、なるべくデフォルトのまま行ってください。特に、「デスクトップ」や「マイドキュメント」など、特定のユーザしかアクセスできないディレクトリをインストール先に指定することは避けてください。インストール先のフォルダを変更した場合に発生したトラブルについては、問題の現象と合わせて、指定したディレクトリをご連絡ください。

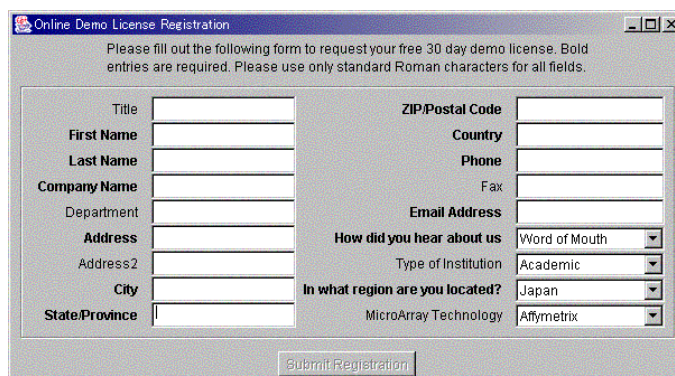
* インストーラを起動する前に、ウイルス検出ソフトやセキュリティソフトなど、ファイルの書き込みを制限するソフトを終了し、必要によってコンピュータを再起動する必要がある場合があります。

4. ラデモライセンスキーを取得する

GeneSpring のインストールが完了すると、GeneSpring が自動的に起動し、ライセンスの確認ウィンドウが現れます。デモライセンスの発行は、一台のコンピュータにつき一度きりです。コンピュータを選定した上で、以下の手順を慎重に行ってください。



上記の画面が現れたら、”No, continue with registration”を選択します。



個人情報を入力して、レジストレーションを行ってください。レジつとレーションが完了すると、ライセンスが発行され、GeneSpring が起動します。デモライセンスは 15 日間有効です。

ご購入をご検討していただけましたら、テクニカルサポートまでご連絡ください。

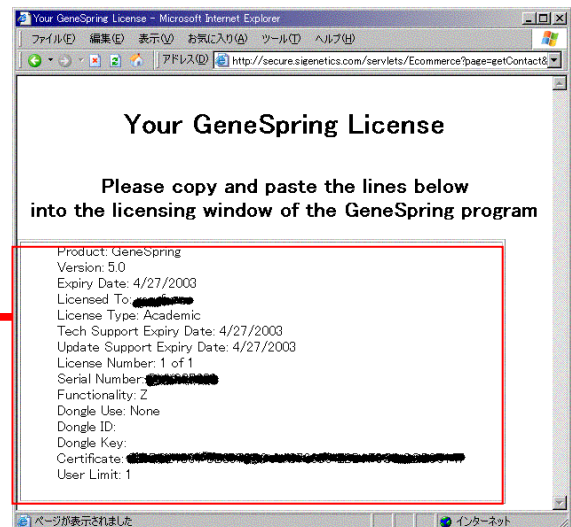
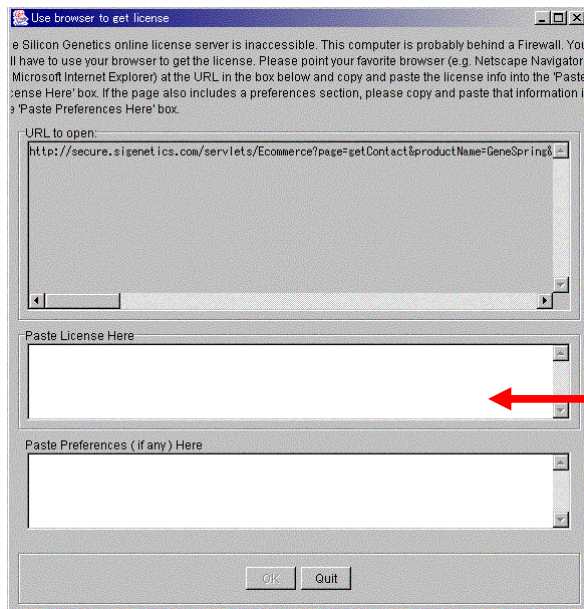
ネットワーク環境によっては、レジストレーションが完了できない場合があります。このような場合、下左の画面が現れますので、次の手順に従ってください。

<注意>

続く操作を行わずにこのウィンドウを閉じてしまうと、二度とデモライセンスを取得できなくなりますので、ご注意ください。

<手順>

1. URL to open 欄のアドレスをコピー
2. Internet Explorer などの Web ブラウザのアドレス欄にペースト
3. Go ボタンなどを押して、ウェブページを開く。(下右画面)
4. ウェブページの枠内をコピーして、下左の画面の中段 (Paste License Here 欄) にペーストします。(赤矢印)
5. OK ボタンを押すと、GeneSpring が起動します。



5 . プリファレンスを設定する

GeneSpring をお使いになる前に、プリファレンスの設定を行ってください。プリファレンスの設定ウィンドウは、編集 (Edit) メニューから、プリファレンス (Preferences) を選択します。

プリファレンスの設定ウィンドウは、種類別に 10 個のタブに分けられています。その中でも、最初に設定が必要なものは次の通りです。

1. System タブ

Desired Memory Use(MB): GeneSpring が使用するメモリー

2. Data Files タブ

Default Genome: 起動時に開く Genome を指定。

Load Sequence: 必要ないならチェックオフ。
メモリー消費を低減できます。

3. Miscellaneous タブ

Restrict Gene List Searches:

Standard List を選択。

Use the Cross-Gene Error Model by default...:

チェックオフ。

Your Email jp で終わるアドレスを入力。

4. Firewall タブ

Proxy サーバの設定: プロキシサーバーが必要であれば。

5. Color タブ

好みのカラースキームを選択。

* **赤い太字の項目は必ず設定してください。**

6. トラブルシューティング

インストールや、起動時に問題が発生する場合は、一度、下記をご参照ください。それでも解決できない場合は、この資料の冒頭の方法でご連絡下さい。

1. インストールできない

<症状>

インストーラが実行できない
インストーラが実行途中で終わってしまう

<解決方法>

1. ダウンロードファイルは完全ですか？

ダウンロード中のエラーや、ネットワークの制限によって、完全なファイルをダウンロードできていない可能性があります。何度かダウンロードをしてみて、ファイルのサイズが同じになりますか？

2. セキュリティソフトが実行中ではないですか？

セキュリティソフトが自動的に起動しないように設定して、コンピュータを再起動してください。

3. アクセス権限がありますか？

アドミニストレータ権限のユーザでインストールしてください。
または、デフォルトのディレクトリにインストールしてください。

4. インストール CD を入手してください。

<http://www.digital-biology.co.jp/japanese/sig/sig-demo-cd-form.htm>

インストール CD 請求ウェブサイト: トミーデジタルバイオロジー株式会社

2 . GeneSpring が起動しない

< 症状 >

DLL エラーが発生

Out of Memory エラーが発生

< 解決方法 : Windows の場合 >

- 1 GeneSpring の data フォルダの中にある、LaxFixer.exe を実行してから、GeneSpring を再起動してください。それでも起動しなければ、次に進んでください。
- 2 GeneSpring の data フォルダの中にある、**GeneSpring.lax** というファイルをテキストエディタで開き、次の一行を書き換えてから、GeneSpring を再起動してください。

lax.nl.java.option.java.heap.size.max=<amount of RAM available>

右辺は、マシンに積んでいるメモリーによって異なります。以下を目安にしてください。

256MB のとき	128m
512MB のとき	384m
768MB のとき	512m
1GB のとき	768m
2GB 以上のとき	1500m

< 解決方法 : Mac OS の場合 >

< Mac OS X のみ >

- 1 GeneSpring の data フォルダの中にある、GeneSpring のアイコンを Ctrl+クリックします。
- 2 パッケージの内容を表示 > Contents > Resouces > **MRJApp.properties** をテキストエディタで開きます。
- 3 下の行を追加します。

com.apple.mrj.application.vm.options= <amount of RAM available>

また、下の行の右辺を変更します。

lax.nl.java.option.java.heap.size.max= <amount of RAM available>

右辺は、マシンに積んでいるメモリーによって異なります。以下を目安にしてください。

256MB のとき	128m
512MB のとき	384m
768MB のとき	512m
1GB のとき	768m
2GB 以上のとき	1500m

- 4 GeneSpring を起動してください。

< 症状 >

fatal エラーが発生
ライセンスに関するエラーメッセージが現れる



< 解決方法 >

data フォルダに、LicenseKey.txt というファイルがあるかどうか確認してください。

LicenseKey.txt がない場合

ライセンスが取得されていない場合は、GeneSpring は起動することができません。6～7ページの手順に従って、ライセンスを取得してください。この手順を実行したにもかかわらず LicenseKey.txt が作成されていない場合は、この手続きを行った日付を明記のうえ、jsupport@silicongenetics.com宛てにご相談ください。

LicenseKey.txt がある場合

デモライセンスは 15 日間のみ有効です。この期間を過ぎていませんか？有効期間中にもかかわらず起動できない場合は、jsupport@silicongenetics.com宛てに、LicenseKey.txt を添付し、状況をお知らせの上ご相談ください。

< 症状 >

GeneSpring のメインクラスが見つからない

< 解決方法: Mac OS の場合 >

GeneSpring のウィンドウが開いているときにインストーラを起動して実行した可能性があります。GeneSpring をアンインストール後、GeneSpring の全てのウィンドウが閉じていることを確認してから、インストーラを起動・実行してください。